

第3次杵築市こども読書活動推進計画（案）に係るパブリックコメント募集結果について

「第3次杵築市こども読書活動推進計画」の策定にあたり、パブリックコメントを実施しましたので、いただいた意見に対し、次のとおり本市の考え方を公表します。
今回、ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

1. 募集期間 令和8年2月27日（金）から令和8年3月23日（月）まで
2. 募集結果 2件（2人）
3. 意見と回答

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>データ収集の上でのプランニング、委員の皆様のご尽力敬服いたします。 子供の読書離れの傾向は感じていましたが、ここまでとはと驚きました。 ご家庭やボランティアの読み聞かせの体験がその後につながっていないのが残念です。 「読書」と一口に言っても内容は様々で、娯楽や情報収集はデジタルに頼る時代となってしまったので電子図書の導入には大いに期待します。ただ、言語を使って概念を組み立てて思考する作業は、どれだけ心に響き、「なるほど」と思わせる文章に出会えるかが大切です。学校でも教科書だけではなく、短くて良いので多様な文章に接する機会を作り、互いに紹介したり話し合ったりする時間を取るべきかと。入試問題などにも出題者が選りすぐった良い物が多いです。（一冊読み通すというのにこだわらず、感想文やビブリオバトルとなると負担が大きいので折々のことば程度のもので）。</p> <p>「矢野文庫」の前で歓声を上げて本を抱え込んでいる親子連れを見かけました。まだまだ本も捨てたものではないと。それに応える資料の充実を望みます。</p> <p>《蛇足ながら気になる点いくつか》</p> <p>(1) P6の指標3「市立図書館における一人あたりの貸出人数」。図書館用語なのかもしれませんが、一般人には意味不明です。1,000人あたり…のミスプリント？ または冊数？</p> <p>(2) 子供達の図書館の利用は学校図書館が最も多いとあるので、その利用数についてのデータを知りたいです。</p> <p>(3) P10（※正しくはP4～P5）「こどもの読書状況」について、2020年と2025年の比較資料で、冊数や好き嫌いの区分が異なるので、どうやら読まなくなり嫌いになる傾向にあるとはわかりますが、正確には把握できません。同じにすべきかと。</p> <p>(4) 意見・提案。氏名記入はなるべく大勢の意見を求めたいのであればハードルが高いのでは。匿名だからとわざわざいわずらに意見を出す人はいないのでは。</p>	<p>学校では、読書日記やIT技術を活用した感想等の共有など、日常的に読書活動の推進に取り組んでおります。今回いただいたご意見については、今後のこどもの読書活動の推進における貴重なご意見としてお受けし、関係課へ共有を行います。また、市立図書館では、こどもたちに読書へ関心を持ってもらえるような良質な資料の提供に取り組んでおり、令和8年度以降に電子書籍の導入や、こども向け資料のさらなる充実を図ることを計画しております。</p> <p>(1) につきまして、指標3を「市立図書館におけるこども（18歳以下）の利用人数」に修正いたします。</p> <p>(2) につきまして、学校では、授業や休み時間を利用して本に触れる機会が常にあり、学校図書館の貸出冊数や利用人数でこどもの読書意欲を計る指標にはなりにくいと判断したため、学校図書館の利用統計等は作成しておりません。</p> <p>(3) につきまして、指標1「1か月に1冊も本を読まない児童・生徒の割合」について、2020年度の調査項目が「1～2冊」「3～4冊」など小刻みすぎて回答しにくいという意見を受けており、2025年度の調査では児童・生徒が感覚的に選びやすくなるように検討し、調査項目の冊数に幅を持たせました。</p> <p>指標2「読書が好きな児童・生徒の割合」については、2020年度調査は「好き」「まあまあ好き」「やや嫌い」「嫌い」という項目でしたが、2025年度の調査では「嫌い」や「まあまあ」を避けることを検討した結果、「とても好き」「好き」「あまり好きではない」「まったく好きではない」という表現の項目としました。</p> <p>(4) につきまして、杵築市パブリックコメント実施要綱（平成21年4月1日）第6条3項「意見等の提出を行うものは、氏名又は名称及び住所又は事務所若しくは事業所の所在地並びに法人その他の団体にあつては代表者の氏名を明らかにするものとする。」に基づき実施いたしました。</p>

2	デジタル社会における読書推進についてのご意見	本意見は個別具体的なご意見であるため、今後の読書活動の推進における貴重な意見としてお受けし、関係課へ共有を行います。
---	------------------------	--